



ある日の戸外遊び。
自然と始まったボール遊び。
最初は台に3人が上りボールを転がしていましたが、お姉さんの「なんか狭いよね」の一言で下りて遊ぶことに…

Gくんを中心に、誰かが何かを言うわけでもなく、自然に順番が生まれボールを転がし、投げる3人。GくんからRくんへ、Gくんに戻ってMちゃんへ…

取りやすいように力加減を調節していたり、同じ目線に合わせたり、3人が心から楽しみ1つの遊びを共有する様子がありました。



3人の遊ぶ様子を見て、何かを決めなくても自然と順番が生まれ、お姉さんとの遊びを通じて簡単なルールを知り遊ぶことができる。「楽しい！！」の中にたくさんの学びがあったようです。

大人が介入しがちですが、やりとりを経てどのような遊びが生まれるのか、子どもからの気づきや自然と身につく力など、見守る中で保育士も気付いた出来事でした。

